

報告書 抄録

ふりがな	あらいせきはつちょうさほうこくしょ							
書名	荒屋遺跡発掘調査報告書							
副書名	第5次調査 宅地造成に伴う発掘調査報告書							
編著者名	今野公顕・佐々木あゆみ							
編集機関	盛岡市教育委員会 盛岡市遺跡の学び館							
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1 電話 019-635-6600							
発行機関	有限会社タイキ・盛岡市教育委員会							
発行年月日	2021年10月15日							
ふりがな 所収遺跡名 (略号)	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積(m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
あらいせき 荒屋遺跡 (IAR)	いわてけん もりおかし 岩手県 盛岡市 ながい だいちわり 永井 第25地割 46番1, 47番2	03201	LE 36- 6319	39° 38' 56"	141° 9' 20"	第4次調査 2019年10月30～31日 第5次調査 2020年4月23日～ 2020年8月26日	2,690	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物			特記事項
荒屋遺跡 第5次調査	集落跡	奈良時代	竪穴建物跡 12棟 土坑 10基 溝跡 2条		奈良～平安時代 土器 土師器 コンテナ 20箱 鉄製品 刀子 2点 土製品 土玉, 勾玉 炭化材 等			
要約	<p>荒屋遺跡は、これまでの調査において、奈良時代の竪穴建物跡など古代の集落跡が確認されている。</p> <p>本調査では、奈良時代～平安時代初頭の竪穴建物跡や土坑を確認し、古代の地域様相の一端が解明された。出土土器から8世紀後半～9世紀初頭と考えられる。</p> <p>また、本調査地点周辺では「昔、「ちょうえんぼう」という僧侶がいた。」という伝承があり、調査地点は「“ちょうえんぼう”の畑」と呼ばれてきた。文献調査の結果、調査地点近隣に近世期の修験僧坊があった可能性が指摘できる。</p>							

荒屋遺跡発掘調査報告書 —第5次調査 宅地造成に伴う発掘調査報告書—

令和3年(2021年)10月15日

編集 盛岡市教育委員会 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13 番地 1
TEL 019-635-6600 FAX 019-635-6605
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp

発行 有限会社タイキ
〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1丁目5番24号
TEL 019-652-7597

盛岡市教育委員会
〒020-8532 岩手県盛岡市津志田第14地割37番地2
TEL 019-651-4111

印刷 株式会社阿部印刷
〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町2番2号 TEL019-624-2242